

海にも陸にも基地はいらない/辺野古の埋立てをとめよう

緊急署名への協力の呼びかけ

いま、沖縄で^{なかいま}仲井真・県知事が米軍基地建設のための辺野古の海・埋立てについて「承認か、不承認か」の判断を迫られています。迫っているのは政府・沖縄防衛局。埋立て申請を承認して基地建設の工事に入らなければ、米軍普天間基地(宜野湾市)はそのまま固定化されてしまう——だから埋立て申請を承認しなさい、という圧力をかけているのです。

それに米軍の輸送ヘリ・オスプレイの10月訓練も、山口県岩国経由で「本土」でおこなう予定で、その分は沖縄での負担軽減になる、と。しかしオスプレイは「本土」から戻ってくるので沖縄の負担軽減にはなりません。ただのリップ・サービスです。

私たちは「埋立て承認」の圧力をかけられている沖縄県知事に、あくまでも「申請の不承認」を貫くように要請します。そのため下記の要領で緊急署名運動を開始します。どうかたくさんの方々の署名をお願いします。

また圧力をかけている政府・沖縄防衛局に対しては、「埋立て申請」をとりさげて辺野古基地建設を断念するよう要請し、こちらにも署名を提出します。

沖縄県知事は「基地は沖縄県外へ」を公約にして当選。この基地建設に対しては、厳しい知事意見を政府・沖縄防衛局に突きつけており、先日の県議会でも「これまでの脈絡からは、不承認」すると答弁しています。

辺野古の海を埋立てて基地建設することは、沖縄の住民を基地重圧にさらしたまま、天然記念物のジュゴン絶滅させ、サンゴを破壊する暴挙です。沖縄県民の80%が反対であり、県議会・市町村議会も「オール沖縄」で反対です。これまで粘り強く住民等が抗議・反対運動を続けて来たため、辺野古の海はこれまで埋立てを免れています。昨年は大浦湾にもジュゴンがやってきていたことを、なんと防衛省自身が確認しています。自然破壊も人間破壊も許さず、埋立てをとめましょう。そのための緊急署名に、ぜひ協力をおねがいします。

▼緊急署名は沖縄県知事あてと政府・沖縄防衛局あての2件です。

郵送[〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-2-13-502 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック気付]またはメール [\[henoko.jitu.2004@gmail.com\]](mailto:henoko.jitu.2004@gmail.com)で辺野古実あてに(FAXは避けてください)。

▼第一次集約は11月9日(土)。

▽第二次集約は11月末です。

呼びかけ：辺野古への基地建設を許さない実行委員会

問い合わせ先電話：090-3910-4140